

BCP（事業継続計画）策定における現状の課題とその解決策

近年、新型コロナウイルス感染症や台風、地震等の自然災害が多発しており、これらが原因で事業を縮小もしくは中断せざるを得なくなった企業もかなりの数にのぼると思われます。BCPはこのような事態に備えて各企業で策定していますが、このせつかく策定したBCPをうまく活用できた例は残念ながらあまり聞こえてきません。そこで本コースでは、現状の課題とその解決策を2つの主要なテーマに絞って解説していきます。

テーマ1．復旧行動計画の具体性

地震のような広域災害の場合は、各地域の社会インフラやサプライヤー等を含めた具体的な被災状況をイメージすることがむずかしいため、これに伴う復旧行動計画も漠然としたものになりがちで、実効性の面での課題になっています。

テーマ2．全体最適化

地震のような広域災害における現状のBCPは、各拠点ごとに個別最適化はできていても、企業全体で見た場合の全体最適化はあまり考慮されていない場合がほとんどです。BCPの要は、災害時に事業やそれが利用している経営資源を取捨選択することによる企業全体の最適化で、各拠点ごとの個別最適化では、BCPとしての実効性を確保することが困難となります。

プログラム

1. 1テーマを2時間で実施します。
2. 実施方法は、訪問研修もしくはWeb研修になります。
3. Web研修の場合は、お客様側でZoom等の環境をご用意いただくことを想定しています。